

令和元年度 北広島ブロックの研究

研究主題

「色のバリアフリーへの取り組み」～誰もがわかりやすい環境を～

主題設定の理由

近年、日常生活の様々な場面において、見やすさ・わかりやすさなどの利便性の観点から、白黒や単色だった案内表示が、どんどんカラーに置き換わっている。しかし、この中には、配慮に欠ける色使いも多く、不便を感じるケースもあり、学校生活においても同様にみられる。現在、小中学校の40人学級（男子20人）の各クラスに必ず1人、男女100人の講演会場で2～3人くらいの割合で、色弱の人がいるといわれている。そこで、「色使い・表示・環境の改善など色のバリアフリー」に取り組むことで、誰もがわかりやすい学校生活環境にすることが重要と考え、この主題を設定した。

研究の仮説

1. 色弱について理解を深めることにより、学校での環境改善への取り組む課題を明確にすることができる。
2. 色弱についての理解を深める情報を教職員に提供することによって、学校全体での行動化につなげることができる。

研究内容

1. 昨年までのとりくみをもとに、各校の実態に合わせて情報提供をする。
2. 教職員と連携し、校内環境改善に向けた対応や支援の在り方を探る

研究方法

1. 全体で実践交流を行う。